

## 令和2年度東海農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区概要

部門別	県名	市町村名	地区名・個人名	取組の概要		
団体部門	コミュニティ部門	岐阜県	高山市	特定非営利活動法人 活エネルギーアカデミー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林の環境保全と里山の暮らしを次世代に継承することを目的に、間伐、未利用材搬出を木の駅プロジェクトとして活動。間伐材の年間伐採本数は1,298本から7,829本に増加(H27～R元)。</li> <li>●高山市認証の物流システム(積まマイカー)を構築。また、地域経済の活性化を目的に銀行決済協力の地域通貨enepoを運用し、森と里と市民生活を結ぶ手法と位置づけ。</li> </ul>	
		岐阜県	中津川市	かしも木匠塾(もくしょうじゅく)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成7年に建築系の大学教授が中心となり「かしも木匠塾」を設立。学生は夏休みの約2週間で木造建築を実習。令和元年は8大学が参加。また25周年を迎え、延べ4千人以上の学生が木造建築に真剣に向き合った。</li> <li>●日本の伝統的な木造建築の技法を学ぶとともに、トマトの収穫や郷土料理の朴葉寿司づくりなどの体験など、農山村の現状を考えるきっかけとなる体験メニューも織り交ぜながら実施。</li> </ul>	
		愛知県	安城市	愛知県立安城農林高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内に2%しかいない純国産鶏「岡崎おうはん」を活用したプロジェクトを立ち上げ、三河の養鶏業・農業の魅力を全国に発信。令和元年4月に岡崎おうはんの知名度向上のため、卵黄を白色にした「ホワイトおうはん」の開発に成功。</li> <li>●「岡崎おうはん」を普及する団体と連携を図り、普及を事業化している岡崎市と産学連携に関する包括協定を締結。</li> </ul>	
		愛知県	大府市	スリーシーズ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和元年に古民家をリノベーションして、農家カフェ「はたけぞく」を開業。自家製野菜や自然栽培米と麴を原料に、平安時代に由来する仕込み方法でどぶろくを醸造・販売。500年以上の歴史を誇る大府市どぶろく文化の新たな担い手。</li> <li>●畑での体験農園等のイベントの開催と、市内の福祉事業所の施設外就労を受入れ、令和元年から農福連携を実施。令和2年からは週1回受入れ。</li> </ul>	
		三重県	伊賀市	いがまち山里の幸(さち)利活用組合 かじか	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成21年から鹿肉の利活用に取り組み、平成24年に地元猟友会と連携して「いがまち山里の幸利活用組合かじか」を立ち上げ、獣肉利活用の活動を本格化しビジネス展開を開始。ジビエの売上は1千万円以上(R元)。</li> <li>●捕獲や解体処理技術、徹底した衛生管理の取組を多くの担い手に伝えるため、三重県内の解体処理事業者等に対し、現場視察の受入れを行い技術指導に取り組む。</li> </ul>	
個人部門	岐阜県	郡上市	三島 真(みしままこと)氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成9年度から小学1～6年生の都会の子ども達を対象に、自然体験旅行「冒険キッズ」の取り組みに尽力。参加人数は平成15年以降、年平均4～5千人。これを契機にインストラクター20人が移住・定住。</li> <li>●郡上市明宝地域と都市を太いパイプで結ぶことを目的に、平成27年度に明宝ファンクラブ「明宝ふるさと家族」(平成30年度に「明宝ふるさとクラブ」に改名)を結成。地域活性化に貢献。</li> </ul>		
	愛知県	豊田市	杉田 雅子(すぎたまさこ)氏	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成17年に農業に参入し、遊休農地70aを借り受けてブルーベリーを植え付け、管理を開始。15年間で農園40カ所、4.2haまで拡大。観光農園には約1,500人が来場。平成24年からはジャムやケーキの加工販売をする直販店をオープンし、7～8月で15,000人が来店。</li> <li>●稲武小学校でのふるさと発見授業は13年目。その子供たちが雇用にも尽力。(10人を雇用)このうち20～30歳代の割合は50%。</li> </ul>		